

令和2年 **12**月の**優しさ**通信

目次

- (1) 🧓 認知症でも資産運用 発症前の意思に基づき 三井住友信託
- (2) 🧓 進行が早い若年性認知症 早期に発見・治療で抑制
- (3) 🧓 楽に買い物 高齢者見守り 移動スーパー、地域に一役

♥今月の福祉用具－衣服の管理 **ドライクリーニング**

- (1) 🧓 **認知症でも資産運用 発症前の意思に基づき**

三井住友信託

*三井住友信託銀行は、認知症になっても資産運用ができるサービスを始めます。

*発症前の意思に基づいて運用し、定期的に取り崩して使えるようにします。

*認知症を発症しても資産を運用できる「安心サポート信託」の提供を始めます。

業界で初めて。

*2012年に462万人だった認知症患者は、2040年に800万人超まで増える見通し。

(2020年11月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



- (2) 🧓 **進行が早い若年性認知症 早期に発見・治療で抑制**

物忘れ外来を受診 / 家族のサポートを

*認知症：脳の神経細胞が損傷したり、働きが悪くなったりすることで認知機能が低下し、日常生活に支障をきたした状態。

*若年性認知症の国内有病者数は、推計37,800人。最も多いのはアルツハイマー型で52.6%、次いで血管性17.1%。

*アルツハイマー型の若年性認知症は特に進行が速く、重症化しやすくなります。

*若年性認知症の問題点は、異変があっても本人や周囲が認知症と思わず、発見が遅れがちなこと。

*認知症の多くは今のところ根治できませんが、早期発見・早期治療で進行

を遅らせることはできます。

*アルツハイマー病を引き起こすアミロイドβの脳への沈着は、症状が出る20年ほど前から始まっています。

*早い段階でアミロイドβの沈着を調べて認知症のリスクを判定し、予防・治療に取り組めば、発症が大幅に遅れる可能性があります。

*糖尿病になると、アルツハイマー病になる確率が倍増します。

*若年性認知症になっても、できるだけ社会的活動を続けて人と交流し、やりがいを持つことで、残っている脳の機能を長く維持できます。

*若年性認知症は医療だけでなく、就労支援や介護する家族のサポートなど、包括的なケアが必要です。

特徴

認知症	・アルツハイマー型 ・血管性 ・前頭側頭型 ・レビー小体型 ・その他
若年性	・65歳未満で発症 ・アルツハイマー型が多い ・進行が速く、重症化しやすい ・うつ病と間違われやすい
主な症状	・最近の記憶が無くなる ・着替えができない ・言葉が出てこない ・好きだった趣味に興味が無くなる

課題点

・就労が難しくなる⇒経済問題 ・親の介護や子供の養育が困難に ・自身の介護で家族の生活に影響 ・社会との関りが薄れることの戸惑い

予防・対策

・早期発見、早期治療
・生活習慣の見直し（バランスの良い食事、適度な運動、十分な睡眠）
・生活習慣病の治療（糖尿病、高血圧、脂質異常症など）
・専門医のいる物忘れ外来など受診
・医療のほかに、包括的ケアを活用（地域包括センター、介護サービス、行政）

(2020年11月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 薬に買い物 高齢者見守り 移動スーパー

地域に一役 官民連携、全国に広がる

*過疎や小売業の撤退で生活必需品の購入が難しい「買い物弱者」への対応策として、車に商品を積んで地域を回る「移動スーパー」が注目されています

す。

* 運営企業が自治体と連携し、高齢者の安否確認や犯罪防止などに取り組む例も。

* 課題となるのは事業の採算性。

* 過疎地域では消費者が少ないため、移動スーパーの事業維持は極めて困難。

買い物弱者 地方で深刻 市町村の3割「対策なし」

* 買い物弱者対策を必要とする市町村の割合は、2019年度時点で全体の85%。

* 2016年度から4年連続で前年度を上回っています。

* 対策を必要とする市町村のうち実際に対策が実施されているのは68.6%。

* 買い物に支障が出ている理由は、「住民の高齢化」「地元小売業の廃業」「中心市街地・既存商店街の衰退」「単身世帯の増加」など。

* 小都市では「公共交通機関の廃止などのアクセス条件の低下」。

* 大都市では「助け合いなど地域の支援機能の低下」。

* 「移動販売車の導入・運営に対する支援」は23.3%。

(2020年11月23日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の福祉用具－衣服の管理

ドライクリーニング

* 有機溶剤を使用し洗浄すること。

* 水で洗うと風合いを損ねたり、型崩れを起こすものに使用されます。

* 染み抜きをした後ドライ洗浄、乾燥、蒸気仕上げ、プレス仕上げで終了。

* 油性汚れがよく落ちる半面、水溶性汚れが落ちにくい、再汚染されやすいなどの欠点。

●石油系

* 引火しやすく火災の危険があるので、管理に厳しい制限があります。

* 洗浄作用がゆるやかなため、ほとんどの衣料に適しています。

* クリーニング後、よく乾燥させます。

* 石油溶剤の衣服残留による皮膚障害の事例があるので、ビニール袋から出して、乾燥させてから収納します。

●合成系

* 不燃性で引火の危険性はありません。

* 洗浄効果は大きいですが、商品にダメージを与えることがあります。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)